

平成27年度

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介

受賞者

延床面積 5000 ㎡以上

- 日本ビルファンド投資法人 (NBFプラチナタワー)
- 株式会社ジェイアール東日本ビルディング
(JR品川イーストビル)
- 新日鉄興和不動産株式会社 (新日鉄興和不動産本社ビル)
- 森トラスト株式会社 (虎ノ門2丁目タワー)

延床面積 1000 ㎡以上 5000 ㎡未満

- 中野冷機株式会社 (中野ビル)
- (規模別ビル名五十音順)



港区は、事業所が集積する都心区という地域特性から、区内から排出されるごみの大部分を「事業系ごみ」が占めるという特徴があります。

「事業系ごみ」の減量を着実に進めるためには、事業者による“ごみの発生抑制”“リサイクル（資源化）への取組”が必要不可欠となっています。

そのため「事業系ごみ」の減量とリサイクルの一層の推進を図るために、平成21年度に「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を創設し、模範的な取組により、高いリサイクル率を達成するなどの顕著な実績を上げている事業者等を表彰しています。

これらの優良事業者の模範的で優れた取組事例を、区のホームページなどで広く紹介することや、区内事業所への立入指導の際に効果的に活用し、事業者による更なる自主的な取組を促進し、「事業系ごみ」の減量・資源化を図るための一助として役立てていきます。

港 区

NBF プラチナタワー

名 称	NBF プラチナタワー
受 賞 者	日本ビルファンド投資法人
所 在 地	白金 1-17-3
建 物 種 別	オフィスビル（テナントビル）
延 床 面 積	50,631 m ²



分別BOX



廃棄物集積所

表彰理由

オフィス4、飲食店1、店舗1の大型のテナントビルです。担当者とテナントが連携を密に図りながら、計量データの有効活用により、ごみの減量とリサイクルの推進を円滑に進めています。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ① オフィス内には既製キャビネットと小型ダンボールの組合せによるミックスを含めて専用の分別容器を設置し、ごみと資源の分別体制が確立されています。
- ② 定期的に、分別状況の点検・確認を行い、その結果をテナントに報告するなどテナントとの円滑な連携により、管理体制が整備されています。
- ③ 過去複数年の計量データを管理しており、毎月の比較データの増減を分析することで、テナントと連携しその後の取組（排出抑制等）に活かしています。

受賞者の声

NBFプラチナタワーは、平成17年11月に竣工した地上26階地下2階のオフィスビルで、在館人員約4,400名の建物です。

廃棄物処理については、各テナント様にもご協力頂き、下記取組を実施しております。

(1) 廃棄物の分別状況調査及び情報共有

毎月実施している清掃関係者会議に於いて、各廃棄物の分量及び分別状況の計測を行い、実績量の報告を行っています。ただ廃棄物の報告を行うだけでなく前月・前々月との比較も行い、なぜ増減したかの分析や対策等についての検討も行っています。

(2) テナント専用部室内の分別の徹底

各テナント様にてゴミと資源とを9種類に分別できるよう専用の分別ボックスを用いゴミ削減及びリサイクル率向上に努めています。

(3) 中間処理施設等の現地視察

ビルから出された廃棄物が適正に処理、処分されているかを年1回現地視察・確認を実施しております。

今回に受賞を励みに引続き、廃棄物削減及びリサイクル率向上に、各テナント様にご協力をいただきながら、ビル一体となって取り組んでいきたいと思います。

J R品川イーストビル

名 称	J R品川イーストビル
受 賞 者	株式会社ジェイアール東日本ビルディング
所 在 地	港南 2-18-1
建 物 種 別	オフィスビル（テナントビル）
延 床 面 積	62,740 m ²



オフィス階給湯室



夢の島（ゴミ集積所）

表彰理由

駅に隣接しており、外来者も含めると在館人員が1日平均35,000名を超える、オフィス6、飲食店16、物販店13を擁している大型のテナントビルで、食品リサイクルを含めて、ごみの減量とリサイクルの推進を積極的に進めています。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ①事務所テナント、飲食・物販店舗とそれぞれの特性に応じた取組を実施しています。ビル全体として環境方針や環境目標を定め、分別や排出抑制などの継続的な啓発を行い、ごみと資源の分別体制が確立されています。
- ②事務所テナントではビル環境会議、店舗に対しては店長会議をそれぞれ定期的に行うことで、情報の共有化（分別状況の報告等）を図っています。
- ③食品関連事業者（小売業・スーパー、外食産業・レストラン）が入っていることもあり、食品リサイクルに対する積極的な取組を実施しています。

受賞者の声

J R 品川イーストビルは2004年に竣工した、オフィス（16フロア）と商業（3フロア）からなる複合ビルで、開業当初からご入居いただいている企業様や店舗と共にビル一丸となって環境改善に取り組んでいます。

オフィステナント・商業テナントと協働して取得した、東京都のトップレベル事業所（優良特定地球温暖化対策事業所）に認定されており、テナント内独自での廃棄物WGの発足やすべてのゴミを計量し、自社内排出量を把握、改善対策に取り組む等、テナント各社の環境に対する意識が高いのも特徴です。

ビル側としては、テナント合同での環境会議を年2回実施し、商業施設運営者であるアトレとは月1回の会議により省エネ化・廃棄物削減の共有を図っています。

各店舗では、毎月の店長会議を通じてゴミ減量と分別について定期的に指導をし、飲食店から出る生ごみはすべて食品リサイクルを実施しています。

ゴミの臭いが全くなく、常に清掃の行き届いている集積場を管理している常駐スタッフと各テナントとの「密なコミュニケーション」が個々の更なる意識向上に拍車をかけています。

各オフィス階及び店舗毎に種類別に設置されたゴミ箱による手元分別を経て、清掃スタッフによる回収後の確認作業を行い、更に館内集積場にて常駐スタッフが分別の最終確認を行うという密接な連携体制の確立により、更なるリサイクルの向上を目指しているところです。

今回の受賞を励みに、ゴミ減量へ向け更なるレベルアップを図ってまいります。

新日鉄興和不動産本社ビル

名 称	新日鉄興和不動産本社ビル
受 賞 者	新日鉄興和不動産株式会社
所 在 地	南青山 1-15-5
建 物 種 別	オフィスビル（本社ビル）
延 床 面 積	9,200 ㎡



分別BOX



エコモニターによるごみのモニタリング風景

表彰理由

地域の環境負荷低減を考慮したビル建築や環境美化活動を通じた地域貢献を行いながら、「人と向き合い、街をつくる。」という企業理念のもと、人を大切に想い、環境に配慮した街づくりに取り組んでおり、本社ビルではゼロエミッションを達成しています。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ①全社的なチームを組織し、分別一覧表を新たに整備し、各階に分別用の専用容器を配置し、工夫された分かりやすい表示とともに、ごみと資源の分別体制が整備されています。定期的に分別状況をチェックすることで、更なる適正分別が図られています。
- ②社内広報誌やWeb掲示版を活用して、ごみの減量・リサイクルの推進について積極的な啓発を行っています。また、「エコの種（環境への意識）」を育てる中長期的な取組も行われています。
- ③排出抑制として、社員食堂においても、徹底した（ストロー・ミルク・ガムシロップなどの）包装材の排出抑制を図っています。

受賞者の声

新日鉄興和不動産本社ビルは、1977年に竣工した地上9階、地下1階からなるオフィスビルで、2006年にリニューアル工事（耐震補強工事含む）を実施しております。現在当社社員約450名が勤務しており、2階には食堂やカフェがある為、生ごみが多く発生するオフィスビルでもあります。当社は、不動産業を営んでおり、環境に配慮したエコロジーカンパニーを目標に様々な環境への取組を実施しております。その一つとして、廃棄物減量に関しては本社ビルから取組を始めました。

具体的には廃棄物減量に関し、今まで廃棄していた使用済み文具品（紙ファイル、BOXファイル等）の再利用（カートリッジ交換タイプの文具品も導入）、食堂における生ごみを減らすためのカット野菜の導入及び割箸の廃止、カフェで発生するごみを減らすための簡易包装（ストローを包装紙のないものへ変更、ガムシロップ・ミルク等の容器はピッチャーを使用等）の導入などの取組が挙げられます。リサイクル率向上に関しては、社員の分別のストレスを低減するために当社独自の廃棄物分別一覧表の作成とわかりやすい分別表示の整備、ごみステーションの複数設置等の取組を行いました。他にも正しい分別方法を理解してもらうために、社内報・WEB掲示版を活用した社内啓蒙活動や月1回の廃棄物分別状況の確認活動を実施致しました。加えて、計量器の導入及び廃棄物処理方法の変更等実施したこともあり、2015年6月には本社ビルにて※ゼロエミッションを達成することもできました。

この様な当社の廃棄物に関する一連の取組が評価され、「港区ごみ減量優良事業者」として表彰して頂くことは大変光栄であり、関係者の皆様には多大な感謝を申し上げるとともに、今回の受賞を励みとして今後共、継続して省資源化・リサイクルに取組、首都圏における当社管理ビルにおいても、本社ビルで実施した一連の取組をノウハウとして活用し、廃棄物の排出量の削減及びリサイクル率の向上を目指してまいります。

※ゼロエミッション：当社では、ビル運営の中で発生する廃棄物に関し、単純焼却ゼロ及び埋立て処理ゼロとすることと定義しております。

虎ノ門2丁目タワー

名 称	虎ノ門2丁目タワー
受 賞 者	森トラスト株式会社
所 在 地	虎ノ門2-3-17
建 物 種 別	オフィスビル(テナントビル)
延 床 面 積	34,550 m ²



分別容器写真



分別容器写真



表彰理由

「持続可能で先進的な街づくり」を目指して、港区内でも多くのテナントビルを運営しており、本社のあることもありビル全体で、ごみと資源の徹底した分別の実践ができています。

●特筆すべき優れた取組は以下の3点です●

- ① 分かりやすい分別表示や分別容器を各テナントに対して配布・設置することで、ビルとしての手元分別の仕組みができており、資源と廃棄物の管理体制が整備されています。
- ② 特に間違いやすいごみと資源については、別途チラシを作成し啓発を行い、管理部署と清掃との連携により適正な分別を図っています。
- ③ 排出抑制として、トイレでのペーパータオルの代わりにジェットタオルを導入しています。

受賞者の声

虎ノ門2丁目タワーは、1999年7月に竣工した地上21階、地下4階のオフィスビルで、森トラスト(株)が本社を構えるほか、テナントとして事務所および店舗が入居し、現在約1,400人が在館しております。

弊社では、所有施設で発生する廃棄物の分別・減量・再資源化を積極的に推進しており、当ビルにおいては具体的に下記の取組を行っております。

■分別

『手元分別』の原則に則り、13種類のゴミ容器を設置して分別に取り組んでおります。

- ① 専用部には『コピー用紙・OA用紙等(白地の紙)』『カタログ・パンフレット等(色地の紙)』『新聞紙』の廃棄用の3段ボックスと『リサイクルできる紙』『もえないゴミ』『もえるゴミ』の廃棄用ゴミ容器を設置。
- ② 共用部には『もえないゴミ』『もえるゴミ』『ビン・カン』『ペットボトル』『電池』『生ゴミ』『吸殻入れ』の廃棄用ゴミ容器を設置。

これらのゴミ容器には、テナントが分別時に廃棄物を一目で判別出来るように、イラストを掲載し具体例を交えた分別表示を添付しております。また、ゴミの排出量を計量器で計量することにより、実態の把握を行っております。さらに、運搬・処分業者からも定期的に分別の度合のヒアリングを行い、事業所からの分別を徹底するよう努めております。

■減量

テナントに対して、書面および口頭での説明により減量のご協力をお願いしております。各テナントに弊社の取組を理解して頂くとともに、高い意識を持って対応を頂いていることで減量を実現しております。

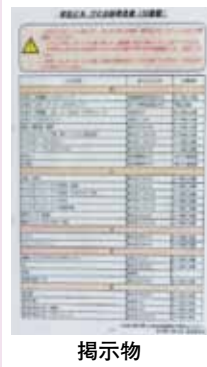
■再資源化

ミックスペーパーおよび、ビン、カン、ペットボトル、廃プラスチック、電池などを分別し、再資源化の原料としております。

このたび、ごみ減量優良事業者として表彰して頂くことに感謝申し上げるとともに、受賞を励みとし、さらなる廃棄物の減量、リサイクル率向上に努めるべく、テナントに協力を頂きながら取り組んでまいります。

中野ビル

名 称	中野ビル
受 賞 者	中野冷機株式会社
所 在 地	芝浦 2-15-4
建 物 種 別	オフィスビル（本社ビル）
延 床 面 積	4,243 m ²



掲示物



ゴミ巡回結果報告

表彰理由

環境負荷低減としての廃棄物の削減を目指して、契約内容・処理業者・分別体制についての見直しを行い、総務部門が中心となって、資源と廃棄物の管理体制が整備されています。

- ①総務部門が主導して、各階のごみステーションに50音順の分別早見表を掲示したり、分別容器の整備に努め、また、溶解処理する機密文書等については、専用ボックスなどを設置して資源化を図っています。
- ②総務部門が実施している各階ごみステーションの分別状況の巡回結果（○×判定）と資源・廃棄物の排出量と処理費用については、社内Webにより継続的（毎月）に社員に対して啓発しています。
- ③3ヶ月毎に、資源・廃棄物についての総務部門から方針・目標・現状報告を伝え、全社的な取組として実施しています。

受賞者の声

当ビルは1985年9月に竣工した地上7階、地下1階のオフィスビルで、現在、中野冷機株式会社の従業員約200名が在籍しております。

当ビルでは、2013年からごみの減量、リサイクル率向上を目指し、身の回りのできるところから施策を立案し、取組を実施しております。

具体的には以下の項目の取組を実施しております。

- (1) ごみの分別方法と50音順のごみ分別早見表の社内展開および掲示
- (2) 各階の分別状況の巡回結果の社内展開
- (3) 各階別の資源・廃棄物の排出量と処理費用の月次集計結果の社内展開

リサイクル率の向上を図る為には、従業員にごみの分別ルールを定着させることが最も効果的であると考え、分別状況の巡回については特に力を入れて取組を行ってきました。抜き打ちで各階の分別状況を巡回し、正しく分別できていないものがあれば、写真を撮り、社内に展開するといった取組です。

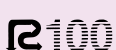
これらの地道な取組により、従業員の分別意識も徐々に定着し、リサイクル率は取組開始前に比べ16%向上、廃棄物の廃棄量については30%削減させることができました。

今回、港区ごみ減量優良事業者等表彰を受賞したことは大変光栄で、この受賞を励みとし、今後も引き続き、更なるごみの減量化・リサイクル率の向上を目指して前向きに取り組んでまいります。

発行 港区環境リサイクル支援部 みなとリサイクル清掃事務所

〒108-0075 港区港南3-9-59 TEL (3450) 8025

平成 28 年 3 月発行



この印刷物は環境に配慮し、古紙配合率 100%再生紙及び大豆インキを使用しています

発行番号 27237-5651